

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4271500854		
法人名	有限会社UTASI		
事業所名	グループホーム九十九の里		
所在地	〒859-6204 長崎県北松浦郡鹿町町下歌ヶ浦免802番地8		
自己評価作成日	平成22年1月27日	評価結果市町村受理日	平成22年4月12日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://ngs-kaigo-kohyo.jp/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構		
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島2丁目7217番地 島原商工会議所1階		
訪問調査日	平成22年3月20日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「安心して暮らすということ」「自分らしく生きるということ」を理念に、利用者のみなさんが、安心して暮らすには、自分らしく生きるには、職員が、日々の生活の中でどうすればいいのかを考えながら支援している。また健康面についても、週1回の歯科衛生士による口腔ケアや、職員の研修も行う予定である。

当ホームは郊外の静かな場所に建てており、店で尋ねるとすぐに教えていただき、地域の方との交流が伺える。広い窓からは山が連なっているのが見え、居ながらにして四季を感じる。訪問した日は生憎の天気だったが、近所で摘んで来たつわの皮むきをされており、午後からは入居者の趣味である三味線の音が聞こえ、他の入居者は、鳴子を持ち一緒に鳴らされたり楽しそうな様子であった。近隣の方が入居されている為、気心知れており職員の小さい時の事も話題に上がり、家庭的な団欒の一端が感じられた。職員は、入居者の人格を尊重し、日々のかかわりの中で理念と共有しながら別に「自分らしく安心して生きる。」事を十か条の形で作成されており黙視できる場所に貼られていた。家庭の延長線上で見守りながら支援していく取り組みをされている。

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き生きと働いている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Alt+Enter)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスの意義をふまえたうえで、理念を普段のホーム内生活地域のなかでも自然に共有して実践につなげている	今年度から新しく「安心して暮らしていく事」「自分らしく生きるという事」と解りやすい理念を掲げ、住み慣れた地域の中で、職員と共に自宅の延長と考え、実践に反映される様に努められている。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地区のお祭り消防訓練等参加し交流をもっている	代表者が地区の役員をされているので、町内会行事に参加し、地域の方との交流を図られている。学生も時々ではあるが、入居者に声を掛け登下校している。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	事業所事態の地域貢献は、実践していない。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行事報告やホームでの行事等にも参加してもらい推進会議内で委員の方に意見をもらったりしている	運営推進会議を2ヶ月に1回開催している。役場の職員や地域の方の参加が協力的で議題の他にも活発な意見を頂き、サービス向上に活かしている。また、家族が参加でき易い日時等検討している。	
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の相談や不明な時などケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	佐世保市との合併で、今後はグループホーム連絡協議会と連携を取りながら、今までと同様に町と、佐世保市に報告、連絡、相談を密に行いサービスの質の向上に努めていく方針を持たれている。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	代表者および全ての職員が、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全ての職員が身体拘束については、研修や日頃の話し合いで把握されていたが、立地条件では危険防止を優先に考え、玄関の内扉の施錠やホーム内の各所に施錠が確認された。	身体拘束について再検討される姿勢を積極的に示されており、今後の取り組みに期待したい。
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所全体で全員がお互いに注意を払い虐待防止につとめている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在活用者は居られないが今後職員全員学ぶ機会をもちたいと考えている		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解していただいている		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や電話をされており、管理者や職員には入居者や家族が遠慮なく意見、要望が言える関係が出来ている。又、家族に向けたアンケート方式で記入する事で、運営に関するサービスの質の向上を図る方針を示されている。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営に関する職員の意見やケースの提案を聞く機会を設け、反映させている	担当入居者の気づきを代表者や管理者と共にケース会議の中で職員の意見として反映されている。管理者と職員の日頃の会話の中で業務にも活かされている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者や職員勤務状況を把握し、労働時間、有給が取りやすく働けるよう職場環境・条件の整備に努めている		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会が少ないため所内で口腔ケアをしてもらい働きながら勉強している		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	季節行事の同業者と交流する機会はあるが、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをするまでには、至っていない。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の言葉や行動等に注意し安心出来る雰囲気作りや関係が築ける様に努めている。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら一番いい方法を話しあっている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族等がまず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来ること自分で行ってもらい家事手伝いなどしてもらい共にする同士の関係をきづいている。		
19		本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族を支援される一方の立場におかず、本人のありのままの生活を知って頂くように会話する機会をつくり家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の馴染みの人の面会、電話、手紙など関係が途切れないよう、支援に努めている	近隣の入居者が多いので、近くの店の買い物や自宅へ行って家族と田畑の作業を手伝ったりしている。友人、知人からの電話もあり、ホームに遊びに来られたり一緒に出かけられる。本人が行きたいと希望された時は出来る限り対応している。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日中は、居間にて過ごして会話、レク、家事手伝いなど利用者同士共に関わりながら生活してもらえる様に支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用(契約)が終了しても、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いや希望は検討している	職員全員が入居者の生活歴を把握されており、趣味や得意な事を活かせるように、ゆっくりとした時間を取り、会話の中からも希望や意向を汲み取っている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前、入居されてから一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの一日の生活パターンの把握、心身状態、残存能力等の現状の把握に努めている		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要の関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、ケアプラン変更時本人、家族、介護担当者、他スタッフと話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者ごとの担当職員が気づきノートを作成しケース記録に記入、担当者会議をされケアプランを作成している。全職員で情報の共有がなされており生活記録の必要に応じて、見直しをされている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を24時間とぎれることなく別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況、変化に伴う要望に、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源の活用はあまりないが本人が心身の力を発揮しながら出来る限り地区行事に参加し豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるようにしている	入居者一人一人のかかりつけ医があり、定期的診察日には時間予約で職員が連れて行かれている。異常がある場合は家族に連絡し、かかりつけ医と連絡を取りながら救急病院の方へ搬送できるような支援をおこなっている。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診を受けられるようにしている		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院した際、安心して治療できるように、病院関係者との情報交換(介護サマリー)や相談に努めている。退院に備えては、看護サマリーや病院関係者との情報交換を行っている。		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、支援している。	入居時に家族には、ターミナルケアの取り組みは説明しており、医療処置が必要になり入院された後の受け入れ施設との提携も準備できている。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を消防士に指導を受け実践力を身に付けている		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を定期的な訓練している	入居者と共に3ヶ月に1回は避難訓練を行っている。建物自体が職員寮として使われていた為、階段の勾配や非常階段の作りなど危険箇所がある。入居者を避難させる場所の確保など検討中とされている。地域の防災に参加しており協力をお願いしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をと会議時や日常心がけたはいるがつい大声になり利用者の怒りをかう時がある	入居者の言葉が荒い時もあり、心理状況を把握しながらの対応をされている。サービス提供の中にも人格を尊重した声かけをしてプライドを傷つけないように心かけている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で本人が思いや希望を表わして頂けるようにしている		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にし、その日の体調をみながら本人希望にそって支援している		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人希望に応じてホームで散髪したりその人の希望で行きつけの美容院に連れて行きおしゃれができるように支援している		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	旬の食材や新鮮な野菜などを、職員や家族からの差し入れで、入居者の希望を聞いて献立を変更することもある。味見も時々お願いしている。同じ献立で入居者一人一人に合わせ食べやすく盛り付けを工夫されている。準備や片付けも気が向いたらお願いしている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べる量、形態、姿勢、イスの選択や水分が一日を通じて確保できるよう(夜間も本人希望)に応じた支援をしている		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとり本人の力に応じた口腔ケアをしている。毎週1回定期的に歯科衛生士に専門的に指導をしてもらっている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	早期に排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	昼間は布パンツとりハビリパンツで過ごしておられ、本人の希望で、夜は居室にポータブルトイレを使用されている入居者が少数いる。また、失敗無くトイレで排泄できるよう支援して、排泄パターンを把握しており見守りながらの支援を行っている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の方が多い為トイレ使用後声かけ・確認をし記録誘導が必要原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	一人ひとりの希望曜日や時間帯に合わせては出来ていない。定期的に温泉湯を運んでもらい楽しませている。	基本的には、冬場は週2回、入浴支援に努められている。入居者全員が入浴剤を好まれており、定期的に月2回温泉を運んで来る事もあり、楽しみにされ喜んで頂いている。ほとんどの入居者は一人で入られ職員2名での見守りの支援をしている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	出来るだけ睡眠導入剤に頼らない方法をとっている。その時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりが使用している薬の説明書をファイリングして、服薬の支援と確認に努めている		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの力を活かした役割、得意、楽しみごと、気分転換等の支援をしている		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望と、家族の理解があれば出かけられるように支援している	地域が自然が多いので山菜取りや、職員の自宅のお茶摘みにも行っている。本人の希望で畑にも行き、畑仕事を一緒にすることもある。又、定期的に動植物園の花見も楽しませられている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の力量があれば買い物などされたらご自分の財布から支払をして頂く等し、支援に努めている		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や大切な人に電話をしたり、手紙のやり取りができるようにしている		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合った花、利用者の作品を飾っている。	広い畳の部屋と食堂が繋がっており、ガラス戸からは、川が流れ向こうには山が連なり桜が見える。職員や入居者が季節の花を飾り、ソファが用意されていて、思い思いの場所で本人の趣味が活かせるような工夫がされている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるようにソファや座椅子の場所の工夫をしている		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室あるいは泊まりの部屋は、家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。希望に応じてベッドの位置お部屋の模様替えも行っている。	馴染みのある家具や、装飾品を持ち込まれており、中には仏壇を持参されている入居者もいた。自宅と変わりなく過ごせる居心地のよい居室となっている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	できるだけ持っている力を発揮し「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している		